

石動役場文書目録(1)

大分類	封筒No.	文書No.	寸法	点数	形態	年月日	西暦	表題
役場01	1	No.無	16.3×50.5他	6	折紙	天正十九年十一月	1591	利家・石動山寺への寄進状他 利長の書状等四通
役場01	2	No.無	24.5×18	1	袋入冊子	慶応元年七月	1865	永伝寺菰一件に付寺社所江書附指出候写并拙寺答書附之写 今石動山愛宕寺
役場01	3	No.無	25.3×18他	15	一枚紙他	昭和二十七年二月	1952	石動町図書室階段等設計書 今石動細工町水田屋文書 島分橋架設圖書
役場01	4	No.無	12×34	29	紐綴(紐無)	天保年間	1830～	今石動町由来
役場01	5	No.無	24×36.2	1	一枚紙	明治六年三月	1873	今石動古城跡領に付御守付御届
役場01	6	No.無	24×17.5他	9	紐冊子他	江戸～明治期		栗原家(松尾六郎右エ門家関係文書)
役場01	7	No.無	25.5×17.8	1	冊子	天保十四年	1843	加越能郡記 全五巻
役場01	8	No.無	66.1×23.5	23	一枚紙			白馬仙人 石動町を詠む歌(短歌)
役場01	9	49	24.3×23.7	1	一枚紙	嘉永元年 十二月	1848	蔵宿に古米を新米として納めた詫証文
役場01	10	73	24.2×17.5	1	冊子	明治三年八月	1870	砺波郡之内村々収納帳 今石動紅屋平兵衛
役場01	11	4	15.7×34.5	1	紐綴	文政六年十二月	1823	別除御仕法による文丁銀(借用書)
役場01	12	3	16×14.8	1	紐綴	年号不祥		文丁銀備上に関する通知
役場01	13	12	25×35	1	紐綴	寶曆・安永・寛政・嘉		蔵宿と給人及町役間に於ける米及銀の貸借関係書覚等
役場01	14	45	24.2×35.9	1	一枚紙	明和六年九月	1769	御用牛皮滑皮買上代金請取 畠中村在住皮多助九郎
役場01	15	48	24×28.5	1	一枚紙	嘉永六年六月	1853	糞附高である紅屋が御取扱銀所宛の蠟油等の仕入銀貸付方願
役場01	16	No.無	23.5×17.5	1	紐綴	明治十七年四月	1884	砺波郡連合衛生会記録
役場01	17	No.無	63×38	1	一枚紙	江戸期		越中砺波郡絵地図
役場01	18	No.無	17.7×99.3	1	袋入巻紙	明治二十四年十二月	1891	上笠常造(在東京)砺波郡を東西に分郡する運動の情况手紙
役場01	19	No.無	24×18.3	1	冊子	昭和十年前後	1935	明治天皇御聖徳奉讃会記録
役場01	20	No.無	29.7×21	1	冊子	昭和五十九年	1984	鵜飼に関する書類
役場01	21	No.無	27.3×17.6	1	冊子	寛文八年～延宝七年	1666～1679	町郡御定書
役場01	22	No.無	21.2×30.3他	6	一枚紙			「薄氷」沿革の大要等のパンフレット
役場01	23	No.無	30×22.5	1	冊子			昭和三十八～四十四年の小矢部市史に関する新聞スクラップ
役場02	24	No.無	13×19	2	冊子他			花水香集他
役場02	25	No.無	28×216.5	1	巻紙	文化十四年正月	1817	元服献立
役場02	26	No.無	84.6×122	2	折紙			越中四郡絵図(写)その1
役場02	27	No.無	21.2×15他	10	冊子他			倶梨伽羅合戦説明絵図資料
役場02	28	No.無	84.5×120.5	2	折紙			越中四郡絵図(写)その2
役場02	29	No.無	26×18.5他	7	冊子他			勝興寺由緒関連史料及び遺跡図
役場02	30	No.無	84.2×103.2	2	折紙			越中四郡絵図(写)その3
役場02	31	No.無	24×36他	6	紐綴	万延元年～慶応四年	1860～1868	融通銀所 借用証
役場02	32	No.無	24.3×36	4	紐綴	明治元年～四年	1868～1871	融通銀所 御糸仕入銀所借用証(覚)
役場02	33	No.無	21×22.5	1	冊子			星家霞芳 俳諧座帳(笹川家文書)
役場02	34	No.無	23.8×18.3	1	冊子	寛政十二年正月	1800	毎月御内言上控帳 當香木吉屋吉兵衛
役場02	35	No.無	24×18	1	冊子	文政九年六月	1826	今石動御治塩高岡木町附伏木浦へ出役升廻等留帳 御塩問屋吉兵衛
役場02	36	No.無	24×18	1	冊子	寛政十二年	1800	貯用銀請拂帳
役場02	37	0-4	24×17.8	1	冊子	明和九年五月	1772	小箆箭ハツ引出手引帳
役場02	38	0-5	24.3×18	1	冊子	安政三年正月	1856	古来より御觸状留書附留并御用方日記帳年号等記置帳
役場02	39	0-1	24.3×17.8	1	冊子	江戸		旧日記目録
役場02	40	0-2	24.3×18	1	冊子	宝暦十三年	1763	古来より御觸状并留書附留帳年号等記置帳 町肝煎孫兵衛他
役場02	41	0-3	24.3×18	1	冊子	明和九年五月	1772	御用書物入積巻番式番三番之手引帳 町肝煎
役場02	42	1-1	24×18	1	冊子	承応三年・延宝六年	1654	御定書之写帳
役場02	43	No.無	26.5×19.6	1	冊子	昭和三十八年三月	1963	元禄以降大雪に関する資料
役場02	44	No.無	26.8×19	1	冊子			越中石黒系図 利波臣今称藤原氏
役場02	45	No.無	28×20.2	1	冊子	明治二十三年～三十年	1890	旧石動町常住戸口及び本籍年会別人口出入人口等戸籍表綴
役場03	46	1-2		1	軸装	寛文十年九月	1670	砺波郡今石動町物成之古文
役場03	47	1-3		1	軸装	天正十四年十月二十三日	1586	前田利家公御判文
役場03	48	1-4	16.2×28.5他	2	一枚紙	年号不祥		今石動町奉行所与力名
役場03	49	1-5	24.7×147	1	巻紙	元禄五年二月二十二日	1692	篠島豊前への防火についての触追加書
役場03	50	1-6	33×227.2他	3	袋入巻紙	享保十年十一月	1725	今石動奉行山崎九郎右エ門より殿様(綱紀)并御家中 御鷹狩についての御触
役場03	51	1-7		1	巻物	寛政四年二月	1792	今石動町奉行 遠田誠摩より町縮方につき申渡状
役場03	52	No.無	19.2×51.3他	3	包紙入折紙	天正十四年十月	1586	前田利次(秀)町役相免状(写)
役場03	53	2-1	16×58.5	1	巻紙	文政七年十二月	1824	今石動奉行本多式部より与力明石主計宛莫加金差上方猶予願了承の手紙
役場03	54	2-2	24.5×33.4	3	折紙	宝暦九年八月	1759	・御城類焼に就て莫加銀五百枚上納依頼達・御城類焼莫加金差上書控・同御算用場請取写以上三通
役場03	55	2-3	26.7×99他	2	巻紙	寛永二十年十月～三年五月	1790～1791	算用場より今石動町奉行篠島主馬宛借上銀返済の達(写)及び右達を奉行配下町役人宛への移牒
役場03	56	2-4	24.2×35.7	2	巻紙	文化十一年五月～八月	1814	今石動町奉行篠原頼母宛調達銀返済の達 二通
役場03	57	2-5	15.8×59.3	1	巻紙	文化七年十一月	1810	今石動町奉行所造営資金の返下(写)
役場03	58	2-6	24×11	1	紐綴	年号不祥		知行米一作引免に就て翌年渡す米の手形 十一通
				176				

石動役場文書目録(2)

大分類	封筒No.	文書No.	寸法	点数	形態	年月日	西暦	表題	
役場03	59	2-7	15.7×77	1	包紙入紐綴	明治七年	1874	水見町に貸金促懸合手紙	
役場03	60	2-8	24.6×74.4	1	冊子	寛政十一年十一月	1799	町役料(諸手当)増銀申請覚並び許可(裏書)書	
役場03	61	2-9	24×93	1	巻紙	?年申十二月		今石動町諸入用書上(町役人より奉行書宛)	
役場03	62	2-10	24×84	1	巻紙	寛政十一年	1799	今石動町役用銀在金等書上	
役場03	63	2-11	15.3×86	1	巻紙	寛政元年十一月	1789	今石動町五百石救米の運用法についての達	
役場03	64	2-12	26×104	1	巻紙	文化十五年二月	1818	貯用銀使用方変更願と奉行承届(裏書)	
役場03	65	2-13	16.5×42.5	1	紐綴	明治七年	1874	町費借用通 小二区	
役場03	66	2-14	23.5×17	1	冊子	寛延四年六月	1751	御用銀請取申通帳	
役場03	67	No.無	24.3×18.1	1	冊子	文久二年二月	1862	町貯用銀仕法方に付き銀子三拾貫目御貸渡分年賦を以返上決算書上申帳	
役場03	68	3-1	24×21.5	1	一枚紙	享保八年二月	1723	今石動小矢部鳴惣高廻御檢地控	
役場03	69	3-2	31.5×124	1	巻紙	享保十年四月	1725	篠嶋故主馬上ヶ屋敷之内御用地に打渡し其の残地の手上高の書附	
役場03	70	3-3	32.3×128.5	1	巻紙	享保十年四月	1725	篠嶋故主馬上ヶ屋敷之内御用地に打渡残地の手上高の書附(写)	
役場03	71	4-1	32.1×43	1	折紙	承応三年七月	1654	摘綿金沢町人に申付候状	
役場03	72	4-2	23.8×34	1	折紙	年号不祥		紅屋惣左之門持山復活願	
役場03	73	4-3	24.1×145.5	1	巻紙	安政二年六月	1855	糸縮方に付仕方書上	
役場03	74	4-4.5.7	24.2×74他	6	巻紙	安政四年六月	1857	糸問屋仲買人等請合状	
役場03	75	4-6	23.7×31他	6	巻紙	慶応三年～明治三年	1867～1870	糸仕入借用証文 六通	
役場03	76	4-8	15.6×93	1	巻紙	亥四月		魚売捌仕法改願	
役場03	77	4-9	24.3×36	1	包紙入巻紙	文化七年十二月	1810	魚荷舂清	
役場03	78	4-10	15.2×67.5他	5	巻紙			魚市場売上金書上 五通	
役場03	79	4-11	24×33.5他	1	紐綴	慶応三年九月～三年二月	1867	魚小売商売人魚買入願証文 四十通	
役場03	80	4-12	25×36他	3	紐綴他	明治五年～六年	1872～1873	拝借金澄(魚市場仕入錢)魚代年賦銭等切替願 十五通	
役場03	81	4-13-112	24×17.3	1	冊子	明治九年十一月	1876	魚売捌品売上金書上町方仕法請求書	
役場03	82	4-13-113	13×74他	3	巻紙	明治十一年	1878	魚売捌所売上金等書上書町方仕法請求書	
役場03	83	4-14	32.3×59.3	1	巻紙	承応三年十一月	1654	蔵宿保証人に就ての達(写)	
役場03	84	4-16	24×17.7	1	冊子	文久二年	1862	産物銀年賦貸付取立方決算書上申帳	
役場03	85	4-17	24.1×18.2	1	紐綴	万延二年～明治二年迄	1860～1869	通用銀預覚 二十通綴	
役場03	86	4-18	24.5×35.5	1	紐綴	文化十三年～慶応年間	1816～1868	融通銀所借用証文(商業資金拝借証書)	
役場03	87	4-19	15×172	1	巻紙	寛政年間	1789～1801	今石動町産物銀について達状	
役場03	88	4-32	30.5×119.5	1	巻紙	明治三年	1870	縮緬商社五郎丸屋差配人病死に依る返済方につき商法局より郡治局宛願	
役場03	89	4-33	15.5×53.5	1	巻紙	明治三年	1870	商法局より拝借銀の返済方猶予願	
役場03	90	4-34	16×90.5	1	巻紙	明治三年七月	1870	商法局より借入金につき生糸売捌代金猶予願	
役場03	91	4-35	24×31.5	1	折紙	文政～天保	1818～1844	蔵宿紅屋平兵衛借用銀返済年賦延期願	
役場03	92	4-36	24×17.3	1	紐綴	明治三年二月	1870	綾子屋久右之門借入金返済延期願	
役場03	93	4-37-1	32.2×21.5	1	冊子	文久二年	1862	取菰頼母子仕法帳 今石動町	
役場03	94	4-37-2	24×34他	11	袋入巻紙他	文久元年	1861	糸問屋井仲人請入縮証文	
役場03	95	4-38	24.3×18	1	冊子	万延元年	1860	今石動町融通銀仕法帳	
役場04	96	5-1	26.5×96	1	袋入巻紙	元和九年三月	1623	加賀藩主利常 殿様参動に付御通過之覚	
役場04	97	5-2	24.5×180	1	袋入巻紙	寛永三年九月	1626	松平大和守御通過之覚 石動町	
役場04	98	5-3	17×51.3	1	包紙入折紙	寛永十六年二月二十日	1639	傳馬御停止 石動町(明和三年五月写)	
役場04	99	5-4	36×181.5	1	袋入巻紙	寛政元年七月九日	1789	能登守御通過之覚 石動町	
役場04	100	5-5	33×196	2	袋入巻紙他	延享三年九月	1746	御宿高儀屋半右衛門代り牧屋三郎右衛門江申渡之覚	
役場04	101	5-6	30×352	1	巻物	文政八年九月	1825	本多式部町奉行より長甲斐守宛宿相続銀融通方願書及び奥村内膳よりの承届書	
役場04	102	5-7	16×154	1	巻物	文政十一年十一月	1828	今石動宿入用補方として塩代銀拂方補充の件(品川庄川町奉行より今石動三役宛)	
役場04	103	5-8	16.7×148.2	1	巻物	寛政十一年	1799	塩代銀淀についての達しの手紙(遠田誠摩町奉行より与力宛)	
役場04	104	5-9	16.3×156	1	巻物	文政八年十月	1825	今石動宿相続銀利足減額に伴う代償仕法(藩より本多式部宛)旧幣一掃のため組合頭改任命上申書(今石動町年寄より松江少属宛)	
役場04	105	5-10	16.6×72.3	1	巻物	明治三年閏十月	1870	宿銀淀見消の願書(遠田奉行より村井又兵衛宛)、同右承届(本多因幡守)	
役場04	106	5-11	17×270	1	巻物	嘉永五、六年	1852～1853	今石動宿役相続銀利足増額承届(写)(本多式部町奉行より今石動与力宛)	
役場04	107	5-11-1	16×93.2	1	巻物	文政八年十月	1825	今石動宿用銀償銀不足処理について(本多式部町奉行より与力宛)	
役場04	108	5-11-2	16×63.7	1	巻物	文政八年十二月	1825	今石動町相続方仕法書	
役場04	109	5-12	24×17.5	1	冊子	寛政五年	1793	今石動町相続方仕法書	
役場04	110	5-13	26×19.5	1	冊子	寛政五年十一月	1793	今石動町相続方仕法書及宿御印之写	
役場04	111	5-14	24.3×34	1	巻物	天保二年七月	1831	石動宿場用引足銀覚(竹田掃部町奉行宛)	
役場04	112	5-15	16.3×	1	軸装	寛政六年	1794	五ヶ年前御貸米五千石の利子を以て宿役続付度旨願出の手簡	
				83					

石動役場文書目録(3)

大分類	封筒No.	文書No.	寸法	点数	形態	年月日	西暦	表題
役場04	113	5-16	16×168.7	1	軸装	文政～天保	1818～1844	宿銀仕方に白銀二十貫貸出す旨の書簡(竹田掃部殿宛 本多播磨守)
役場04	114	5-17	16.5×136.5	1	軸装	寛政五年十一月	1793	宿困難に付借用方願出に対する許可書(遠田町奉行に対し藩より)
役場04	115	5-18	17×58.5	1	巻物	文政八年十月	1825	今石動宿相統銀御利足減額復活に対する町三役よりの礼状控
役場04	116	5-19	24.5×26.7	1	巻物	寛政十一年十月	1799	今石動宿続方役用銀十貫目上級の受取書
役場04	117	5-19-2	24.7×36.3	1	巻物	寛政十一年十一月	1799	御塩淀銀五ヶ月分一時上納請取(御算用場より遠田奉行宛)
役場04	118	5-19-3	24.5×36.8	1	巻物	寛政十一年十月	1799	御塩淀銀五ヶ月分一時上納届(遠田奉行より御算用場宛)
役場04	119	5-20	24.7×18.7	1	冊子	天保十四年三月～弘化四年七月	1843～1847	宿定馬四十匹減馬につき、相当銀御役用銀として御渡願書付及其銀子請取書
役場04	120	5-21	32.5×56	2	袋入巻紙	天保五年二月・四月	1834	今石動支配相統銀会所江預之覚 二通
役場04	121	5-22	16.5×221.6	1	軸装	明治三年	1870	今石動地子米に対する債について(鈴木小属より町役人江)
役場04	122	5-23	16.6×114.2	1	巻物	不詳		今石動等三ヶ所 塩代銀見消の願承届書
役場04	123	5-24	16.1×69	1	巻物	不詳		町商人共難渋につき役用銀四十貫目拝借の上相渡の旨の書付
役場04	124	5-25	24.8×51.8	1	巻物	嘉永三年十二月	1850	今石動宿仕方銀会所貯用銀として預置くの覚(遠田勘右工門宛)
役場04	125	5-26	16.5(32)×65.1	1	巻物	明治三年二月	1870	島分并山島分亀(※「四の下に亀」の字)入札仕法についての願、其の承届書付
役場04	126	5-27	24.3×27他	5	紐綴	寛政元～十年	1789～1798	宿用銀利子支掃通知(六通) (町奉行遠田誠摩宛)
役場04	127	5-28	16.4×167.8	1	軸装	寛政五年十月二十五日	1793	宿相統米貸付方及其返済方法について(遠田誠摩奉行より)
役場04	128	5-29	17×246.8	1	軸装	享和元年五月	1801	町奉行遠田誠摩より町与力衆へ
役場05	129	6-1	15.9×208	1	軸装	明和八年五月	1771	宿用銀融通につき注意方の達
役場05	130	6-2	16.5×93.3	1	軸装	寛政五年十月	1793	今石動宿困窮の願出に対する達(今石動奉行遠田誠摩通達)
役場05	131	6-3	16.6×212.2	1	軸装	寛政五年十月	1793	役用銀貳拾貫目無利足御貸米五ヶ年据置六年目より二十五年賦返還の事(今石動奉行遠田誠摩達)
役場05	132	6-4	16.1×150	1	軸装	寛政十一年九月	1799	塩代銀延滞に関する手紙、塩代銀淀銀等上納方紙面承届(遠田誠摩宛)
役場05	133	6-5	16.7×421	1	巻物	文政八年十一月	1825	今石動宿役相統銀貳百拾貫目の利足の催促(本多式部奉行より与力宛)
役場05	134	6-6	16.3×51.5	1	巻物	文政十一年	1828	今石動宿用銀満銀につき仮証文渡願(写)(品川左門より中川八郎右工門宛)
役場05	135	6-7	15.9×58.3	1	巻物	文政十一年十一月	1828	宿用銀返上の仮請取(中川八郎右工門より品川左門宛)
役場05	136	6-8	17.3×48.5	1	巻物	文政八年正月	1825	宿用銀正月分請取の旨の手紙(富田外記より本多式部宛)
役場05	137	6-9	16.8×72.3	1	冊子	天保九年十二月	1838	宿用銀六拾貫借用方に対する返書(写)(本多播磨守より町奉行原六郎右工門宛)
役場05	138	6-10	16.2×59	1	巻物	天保八年九月	1837	今石動宿用銀仕法につき御達(写)
役場05	139	6-11	16.3×68.7	1	巻物	天保八年	1837	宿用銀利足取立の件(今石動奉行石野右近宛)
役場05	140	6-12	30.7×326.1	1	巻物	文政八年四～八月	1825	宿用銀増額方上申書(本多式部より奥村内膳宛) 同上申書への返事(村井豊後守)
役場05	141	6-13	15.5×95.9	1	巻物			今石動宿役相統銀利子減方に関する件(本多式部町奉行より与力共宛)
役場05	142	6-14	15.6×46.5	1	巻物	文政八年十月	1825	宿用銀四拾五貫目寺社所に預置について、御勝手方よりの覚書(写)
役場05	143	6-15	16.3×36.5	1	巻物	文政八年十月	1825	城端、氷見拂塩代銀五ヶ月増淀上納の件について手紙(河波多仲より鍋木誠太夫宛)
役場05	144	6-16	15.1×51.9	1	巻物			今石動宿用銀預銀について(本多式部町奉行より今石動与力宛)
役場05	145	6-17	17.8×132.2	1	巻物	文化元年十月	1804	今石動宿用銀不足に関して石動町奉行奥村源右工門の御用番役方への口述書の大意(町年寄藤田屋久右工門宛)
役場05	146	6-18	16.2×97.2	1	巻物	不詳		類焼後の宿成立につき訓戒の達
役場05	147	6-19	16.3×50.2	1	巻物	弘化四年八月	1847	今石動・城端宿用銀、寺社所より御算用場に移るについて申達及承届(遠田勘右工門町奉行より前田近江守)
役場05	148	6-20	17.1×71.9	1	巻物	天保二年七月	1831	宿方仕法銀の不足について(今石動奉行竹田掃部より与力宛)
役場05	149	7-1	24.5×182	1	巻紙	延宝三年	1675	飢申者共へ七ヶ年返上にて外三月貸米申届(篠原豊前より町役人宛)
役場05	150	7-2	15.5×108.8	1	巻紙	天保十年十二月	1839	当年虫付難作につき役用銀貸付方願出たる旨の通知
役場05	151	8-1	24.5×29	1	巻紙	延享五年三月	1748	愛宕寺建直についての借用申銀子之事
役場05	152	8-2	24.4×36	1	巻紙	延享五年六月十八日	1748	愛宕寺出世銀の残りを氏子中より取立之事
役場05	153	8-3	24×101他	2	巻紙	明治三年四月	1870	今石動紅屋平兵衛と道林寺との間に受地について紛糾書上(二通)
役場05	154	8-4	16.5×43	1	冊子	明治六年三月	1873	愛宕社修葺方仕法銭受渡證印簿
役場05	155	9-4	24.5×36.3	1	紐綴	嘉永三年六月	1850	小矢部川筋分間絵図畧図(三枚)
役場05	156	9-5	23.7×33.5	10	折紙	不詳		小矢部川沿岸島分小矢部島附近畧図(数枚)
役場05	157	9-6	27.5×39	1	紐綴	明治十一年十二月	1878	第五区小十三区畠中村山村字限全図
役場05	158	127	30.5×23	1	冊子	明治二十二～大正二年	1889～1913	裁令書 石動町役場
役場05	159	128	24×18	2	紐綴	明治二年八月、明治四年十二月	1869 1871	町宿相統金不足分無償交付願(今石動町より郡治局宛)、同右書に対する交付書
役場05	160	129	35.3×12	1	紐綴	明治二十六年二月	1893	御直影拜受に付実費 石動町外五ヶ村組合学校
役場05	161	No.無	12.2×40.3他	4	巻紙	寛政四、安政三、文化三、弘化二	1792 1856 1806	紅屋平兵衛蔵宿印判 四通

石動役場文書目録(4)

大分類	封筒No.	文書No.	寸法	点数	形態	年月日	西暦	表 題
役場06	162	1	16×19.3	1	紐綴	不詳(午 正月)	1845	預知行米の蔵出方通知(紅屋平兵衛蔵宿宛)
役場06	163	2	15×16.2	1	一枚紙	不詳(午 十月)		福町宿出し義承届の手紙(町肝煎より平兵衛宛)
役場06	164	3	15.5×57.5他	2	巻紙	巳年		蔵宿、収納米を出す手形状に付けた手紙 二通(紅屋平兵衛、可西尾次助宛)
役場06	165	4	23.8×35	1	巻紙	天保七年十二月	1836	年貢米不足についての誓約覚(菘輪肝煎、組合頭より紅屋平兵衛宛)
役場06	166	5	24.3×21	1	巻紙	文政十一年十二月	1828	石屋晋左衛門収納中、春秋夫銀蔵宿紅屋平兵衛方に差出可旨の通知
役場06	167	6	24×60	1	紐綴	文化十二年五月	1815	御所附出申 御給人藤田寿三郎様に関する書簡 五通
役場06	168	7	16.5×40	1	巻紙	不詳(四月)		明石六郎右衛門手紙
役場06	169	8	16.4×64.7他	4	巻紙	明治三年十一月	1870	一、租税掛(金沢藩)より平兵衛蔵宿米の内銭納すべき村名の達 二、蔵宿米減石の通知 三、外二通
役場06	170	9	24×69	3	巻紙	明治三年九月	1870	新枅改方に付村々惣代共願書附写 新枅御渡方願控 二通
役場06	171	10	25×19.1	1	一枚紙	明治元年十二月	1868	御預り尿物代御米の事(蔵宿平兵衛より御改作奉行所宛)
役場06	172	11	24.2×27.5	1	一枚紙	明治四年正月	1871	手代共初寄合の砌談判治定の覚(蔵宿年行司千葉東氏)
役場06	173	12	15.7×25.5	1	巻紙	不詳(午 二月)		藩士古屋此母発行手形印不鮮明故、米を渡さなかつたについての町肝煎保証文
役場06	174	13	15.7×51.8	1	巻紙	嘉永六年(丑 十一月)	1853	御米預状請求の手紙(福町村肝煎より平兵衛宛)
役場06	175	No.無	24×18.5	1	袋入紐綴	明治十二年	1879	事務引受書類 戸長役場
役場06	176	No.無	17.7×12	2	袋入冊子	不詳		加越能・天台、眞言、浄土、日蓮、各宗寺院神主、社僧、山伏の書上・産物方拝借錢覚
役場06	177	No.無	12.1×18他	1	紐綴	明治十年三月	1877	今石動ヨリ西京口マデノ宿駅村間里程古今畧記載簿 外綴
役場06	178	No.無	22.8×15.8	1	冊子	明治六年	1873	明治六年の公報
役場06	179	No.無	24×18.4	1	冊子	明和九年八月	1772	今石動町江被成下候御印之物写帳
役場06	180	No.無	23×16.5	1	冊子			地租改正人民心得書
役場06	181	No.無	23×15.7	1	冊子	明治四～六年	1871～1873	官報諸條例綴
役場06	182	No.無	42×333	1	巻紙	天保十三年	1842	庄川順路御普請畝絵図 平成七年六月二十七日写
				28				